

令和3年度西区運営方針における取組み内容について（概要版）

経営課題1 地域コミュニティの活性化

戦略 1-1 人と人のつながりづくりの活動支援

- ・防犯・防災・子育て・福祉など日常生活に密着した重要な取組みが町会・自治会等の身近な地域の活動主体によって支えられていることを区民の皆さんに広く周知することで、人と人とのつながりづくりや地域活動の重要性について再認識いただき、町会・自治会等の活動への参加や加入につながるよう支援しました。
- ・マンション内のコミュニティの活性化・地域との交流促進をめざし、区民の皆様に対し区のホームページや広報紙における情報発信とともに、マンション管理組合・建設事業主などに対し啓発及び協力依頼をしました。
- ・マンション内のコミュニティの活性化・地域との交流促進をめざし、区の広報媒体での情報発信とともに、「いきいき百歳体操」などの開催・支援をしました。
- ・新型コロナ感染拡大防止の観点から、例年実施している「区民まつり（体育と防災のつどい）（文化と健康のつどい）」の現地開催は見合わせざるを得ませんでした。WEB配信を行いました。また、コミュニティ育成事業として1月に「たこあげ大会」、2月に「こどもワクワク映画会」を開催しました。
- ・広報チラシを作成し、転入者や子育て層に自治会・町内会活動への参加を呼びかけました。



町会加入促進チラシ（表面）



町会加入促進チラシ（中面）

戦略 1-2 地域活動の活性化

- 地域活動協議会が各地域の特色や課題、ニーズに応じ、自律的な地域運営が促進できるよう活動支援を行いました。
- まちづくりセンターを活用し、住民の地域活動への参加促進や地域の広報紙の作成支援、情報共有会や勉強会の開催などの取組みを行いました。
- 感染症拡大を防止するための「新しい生活様式」に対応した地域活動及び組織運営を支援しました。
- 区の広報媒体を活用し、地域活動協議会の活動等を周知しました。

戦略 1-3 多様な活動主体とのネットワークづくり

- 区の貴重な地域資源である「公園」を活用した取組みである「韮公園バラ園コンサート」や「にし恋マルシェ」等を通じて多様な活動主体のネットワークづくりを支援しました。
- 区役所との協働での新たなネットワークづくりを促進するため、区内のさまざまな分野で活躍されている方々を広報紙で紹介しました。



韮公園バラ園コンサート



にし恋マルシェ



経営課題2 安全・安心で快適なまちづくり

戦略2-1 災害に強いまちづくり

- 新型コロナ感染拡大の防止に留意しながら、地域の自主防災組織による防災訓練実施に向けて支援を行い、8地域で訓練が実施されました。
- 防災意識の向上や災害対応知識の習得に向け、子育て支援サークル（7地域）やマンション（2棟）、企業等（3団体）で防災出前講座を開催しました。
- 「防災・減災教育カリキュラム」の支援を地域や西消防署と連携して行い、災害から命を守るための知識の習得と、実技による体験学習を行いました。（土曜授業2校）
- 災害時避難所等に対する備蓄物資の充実を図りました。



地域防災訓練



備蓄物資充実の一例

コロナ対策用品（パーティションテント）・手すり付き折り畳みトイレ等

戦略2-2 安全で快適な居住環境づくり

- 街頭犯罪の約7割を占める自転車盗難対策として、自転車盗難防止啓発ポスターを作成し掲出しました。（131施設）
- 地域住民・学校・関係機関と連携し、各団体が実施する落書き消去活動（7回）を支援しました。
- こどもへの犯罪防止・安全確保のため、青色防犯パトロール活動・登下校時の見守り活動を地域の皆さんと連携して実施しました。
- 交通安全、交通事故防止を啓発するため、区の広報媒体を活用し、「全国交通安全運動」の実施や冊子「自転車のルール」などを周知しました。



自転車盗難防止ポスター



落書き消去活動



にっしーパトロール隊

戦略 2-3 誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり

- 高齢者・障がい者等の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくっていくために、引き続き全 14 地域の見守りコーディネーターが、コロナ禍の中、電話を活用するなど工夫をこらしながら、支援を必要とする方への訪問、福祉情報の提供、相談といった支援を行いました。
- 地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員、主任児童委員をはじめ地域団体の皆さんの協力を得て行われている要援護者の見守り活動について、サポートを行いました。
- コロナ禍において、例年開催を支援している子育て層の交流の場「てをつなごう！」は密を避けるため人数を制限し「てをつなごう week！」として開催し、高齢者・こども・障がい者の交流の場「そよかぜまつり」は代替としてあいサポート研修を実施し、障がい者理解を深めました。一方、各地域での子育て支援サークルについて、活動再開のガイドラインに沿った留意事項の周知や、各地域での状況・それぞれの工夫している点の共有等により、実施支援を行いました。
- 患者や家族等の在宅療養生活を支えるために、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われることを目的に、区内医療関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護事業者連絡会）と介護関係団体との連携を図るため、医療・介護従事者ミーティング（4回）の実施や、医療・介護従事者向けホームページの作成・公開を行うなど、ネットワークの充実に取り組みました。
- 在宅療養支援の一環として、医療・介護関係者間が互いに患者や家族の状態を共有できる連携シートの活用促進に取り組みました。
- 区の広報媒体を通じて検診の受診に加え、大阪府が提供する健康サポートアプリの周知を行いました。
- 介護予防とコミュニティづくりを同時に実現する「いきいき百歳体操」の普及を支援しました。



見守り活動の様子



在宅医療周知パンフレット



いきいき百歳体操

経営課題3 安心して子育てや教育ができる環境づくり

戦略3-1 子育て環境の充実

- 安心してこどもを生み、育てられるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談体制として、保育士・保健師・家庭児童相談員等に加え、心理相談員などの専門職を配置し、支援が必要なこどもを早期に発見し、相談援助を行いました。
- 教育・保育その他の子育て支援を円滑に利用できるよう子育て支援情報誌「てをつなごう！」の発行など情報提供を行いました。
- 訪問型病児保育（共済型）を引き続き実施し、子育てと就労の両立を支援しました。
- 児童虐待の早期発見につなげるため、相談連絡窓口を広報紙、ホームページ等により繰り返し周知したほか、コロナ禍において、例年、年2回の就学前機関（幼稚園、保育所、認可外等）訪問が1回となったが、個別の電話連絡などを通じて、情報共有ができる関係づくりと啓発活動に努めました。



子育て支援情報誌
「てをつなごう！」

戦略3-2 学校教育支援

- 区長と小中学校長との意見交換会を年12回開催するとともに、保護者・地域が参画する学校協議会のモニタリングとサポートを行い、学校現場の課題や支援ニーズを把握しました。
- 区教育行政に関して、立案段階からその実績及び成果の評価に関し、保護者・地域住民等の意見を聞き、適宜これに反映させる「西区教育会議」を2回開催し、教育環境課題改善に向けた情報提供を行いました。
- グローバル社会において活躍・貢献できる人材育成のため、各中学校における生徒の英語力強化の取組みを支援するため英検受験料の一部補助をしました。
- 小学生の体力・運動能力向上とスキルアップのため、専門家を派遣して実践的な授業を行うとともに、教員を対象とした実技指導研修の開催により指導力の向上を図るなど、体育の授業内容の改善・充実を図りました。
- 区内中学生を対象に、基礎学力の定着、学習習慣の形成等を図るため、民間事業を活用した課外授業を行いました。
- こどもサポート推進員を配置し、課題を抱えたこども及び子育て世帯を保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎました。（支援件数：111件）
- 社会福祉等の専門的知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、いじめ、問題行動、不登校などの課題を抱える児童生徒の課題解決に取り組みました。また、スクールカウンセラー（SC）を配置し、こどもや保護者・教職員の相談体制の充実にも努めました。（SC相談件数：222件）



実技指導研修

経営課題4 区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進

戦略4-1 区民の声が反映される仕組みづくり

- 西区区政会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民の皆さんに知っていただくため、ホームページ等へ掲載しました。
- 委員の皆さんより頂いたご意見に対して区の考え方を必ず書面でお示するとともに、次回の区政会議において回答の趣旨を説明する等会議運営において工夫に努めました。
- 委員の皆さんがより活発に意見交換ができるよう、それぞれ興味の高い3つのグループ（「防災・防犯・コミュニティ」、「福祉・健康」、「教育・子育て」）に分かれていただき、議論いただく形にしました。
- 区民アンケートや「市民の声」・「ご意見箱」などにより、多様な意見やニーズの把握とともに区政に反映するよう努めました。



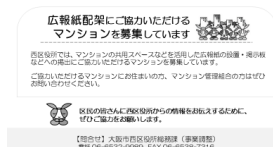
区政会議

戦略4-2 さらなる区民サービスの向上

- 民間研修機関を活用した職員接遇研修を実施し、職員の接遇・応対力の向上を図りました。
- 区の特性に応じた個性あふれる区政運営の取り組みや成果、区の魅力や地域情報などについて、区広報紙のほかホームページ、ツイッター、フェイスブック、LINE 等様々な媒体を活用して情報発信しました。
- 区広報紙やツイッター、フェイスブック、LINE 等の電子媒体による情報発信について、二次元コードの活用やホームページの新着情報掲載をツイッターなどで通知することにより相互連携をさせるなど、それぞれの媒体の特性を最大限に活かし、より区民の皆様に見ていただきやすい情報発信を行いました。
- 広報紙を手にとっていただきやすくするため、区内の店舗等に広報紙の配架をしていただける「広報サポーター」の活用に加え、マンションへの配架協力依頼を行うなど身近な場所で手に取って頂けるよう設置場所を増やすとともに、設置場所について区ホームページに掲載するなど周知に努めました。



広報媒体周知チラシ



(裏面) 広報サポーター周知

戦略 4-3 効率的な区行政の推進

- これまでに本市で発生した個人情報漏えい事故や不適切な事務処理事案に関する情報と改善策を共有し、再発防止に取り組みました。
- 適切な事務処理ができる組織づくりのため、コンプライアンス研修を実施し、職員のコンプライアンス意識の向上と不適正事案を未然に防ぐ「風通しのよい職場づくり」を推進しました。
- 施策の目的を明確にした上で事業を実施し、定期的に目的に対する成果や取り組みの有効性をチェックすることで、事業内容の改善や新たな事業展開につなげるよう、マネジメントサイクルを徹底しました。

